

令和2年8月理事会 議事録

令和2年8月3日午後9時00分、一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会、事務局（東京都日野市高幡1004番地の3 ラ・ヴィ・エゼー303）において、以下のように、理事4名（総理事数5名）及び監事 白柳 一美 出席のもとに理事会を開催した。なお、下記議案につき可決確定の上、午後9時33分に散会した。

出席理事	西野 明樹	（代表）（議長兼議事録作成者）
	倉嶋 麻理奈	ビデオ会議システムを利用した出席
	永沼 利一	ビデオ会議システムを利用した出席
	上田 直志	ビデオ会議システムを利用した出席
	米田 未那	欠席
出席監事	白柳 一美	欠席

理事 西野 明樹 は、議長となり、本日の理事会はビデオ会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意思表示が互いにできる状態となっていることを確認した。

報告事項

1) 7月関西交流会について

世話人からも感染懸念の声があり、開催中止となった。

第1号議案 東京入管被収容者パトさんからの訴えに関する件

西野代表より、東京入管被収容者パト氏（MTF当事者、フィリピン人）が1人部屋に隔離されホルモン投与認められずにいることを訴え出ており、それについての処遇改善の要望書を共同提出しないかとの誘いを受けている旨を説明し、理事会での審議を求めた。

西野代表より、合理的配慮については求める意味があると思うが、強制送還をしないように求めるなどは性同一性障害当事者が運営している本法人が見解を述べられる範囲を超えているのではないかと懸念されることを述べた。倉嶋理事は、収容など適切かどうかなどは本法人では判断し切れないが、ホルモン投与などは過去に刑務所や留置所での身体的治療を求める要望書を提出したこともあり、要望に値すると思われる旨を述べた。永沼理事は、パト氏本人が訴え出ている内容だけでは情報が不足、安易な判断はできないと感じることを述べた。上田理事は、合理的配慮以外の要望が含まれている文書に名を連ねるのは難しいのではと述べた。

理事らで慎重に審議した結果、共同提出には応じられないが、過去に本法人が法務省に提出した刑務所等被収容者への処遇改善に関する要望書を引用するなどして構わない旨を返答するに留めることが全会一致で承認可決された。

第2号議案 ビデオ会議システム Zoom の導入に関する件

西野代表より、交流会のオンライン化のために利用するサービスについて、事務局で調査をした結果、ビデオ会議システム Zoom が適当と考えられたことを述べ、審議を求めた。

審議の結果、Zoom の導入について、全会一致で承認可決された。

次回理事会の開催日時

令和2年期9月理事会は、令和2年9月11日（金）午後9時から行う。

以上の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事並びに出席監事がこれに記名押印する。

令和2年8月3日

一般社団法人 g i d . j p 日本性同一性障害と共に生きる人々の会理事会

議長 代表 **西野 明樹**

副代表 **倉嶋麻理奈**

理事 **上田 直志**

同 **米田 未那**

同 **永沼 利一**

監事 **白柳 一美**

以下余白